次の吉川を目指して！→→→｜市長選…平成27年2月22日｜県議選…平成27年4月12日

県政報告リーフレット<討議資料>
吉川ミーティング vol.19

価値ある未来を、共に

埼玉県議会議員 無所属・44歳

中原恵人（しげと）

平成28年は 市政20周年!!
「次の吉川」をみんなの力で創ろう!NEXT!!吉川!!

1. 合言葉は！

＊付記1

社会を開く!!

Q「価値ある未来を」創る為に大事なことは？

A 社会を「開いてゆく」ことです。

「開いてゆく」とは、
これまでに見えなくしてきたものをもう一度取り戻すこと。

- 私達のエネルギーはどこから来るのか？
- 私達のゴミはどのように処理されているのか？
- 私達の食糧はどのように生産されているのか？
- 私達の税金はどのように使われているのか？
- 私達の街の未来は誰が決定しているのか？
- 汚れきった川や水路は見えないところへ追いやられ、
- 不登校・ひきこもり問題は閉ざされた家族の中でループし、
- 障害者をとりまく問題、高齢者問題は対岸へ…

それぞれの問題が閉ざされてゆく中で、
いつの間にか私達は実感ある生活を失っています。
「開いてゆく」ことを意識することが
「価値ある未来」を創る一歩目です。

＊付記2

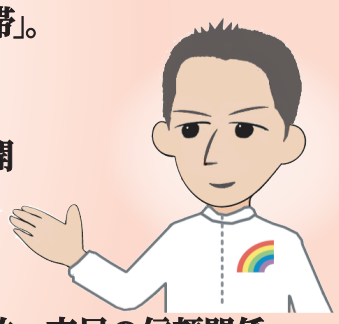
家族のようにひとつに!!

Q「共に」とは？

A 政治ー行政ー市民が連帯してゆくことです。

何もかも行政がやってくれる、そんな時代はとうに終わっています。
また、市民を遠ざけ、情報公開しないやり方も通用しません。
「共に考え、共に動き、最小の費用で、最大の効果をあげること」、
生産年齢人口がさらに減少する今後は特にそうした意識が必要です。
人口約7万人の吉川市。その規模の自治体だからこそ出来る
「顔と顔を合わせた中での家族のような連帯」。
そこに未来をつくる鍵があります。
その連帯で重要なことは、

- 方針や政策の充分な周知と情報公開
- 多様な意見の募集
- 意思決定過程の可視化
- 責任の明確化



「開くこと」から生まれる、政治ー行政ー市民の信頼関係。
それが「家族のような連帯」を可能にします。

価値ある未来を、共に